



のりまつ

学校教育目標
心豊かで自ら学び、
たくましく生きる子どもの育成
<やさしく かしこく たくましく>

学力特集号

令和元年11月12日
北九州市立則松小学校

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

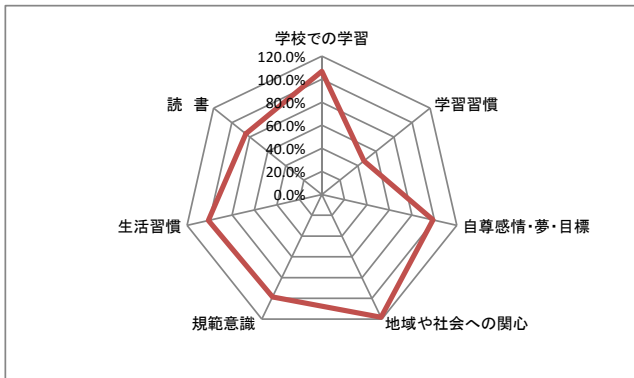
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	・漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う問題の正答率が高かった。 ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由にし、まとめて書く問題の正答率が低かった。	上回っている
算数	・加法と乗法の混合した整数と小数の計算の問題の正答率が高かった。 ・示された計算の方法を解釈し、かける数やわる数を選び、計算しやすい式にして計算する問題の正答率が低かった。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

学習中、「友達との話し合い」をよく行っていたと答える児童が多く、学校での学習に意欲的に取り組んでいる。
宿題を毎日する児童は多いが、自分で計画を立て1日当たり1時間以上勉強をしている児童は少ない。
このようなことから、学校での学習態度は、向上しているが、学習習慣に課題があるといえる。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・分かる授業の実施(めあて・ふりかえり)し、学びあう力を育てていく。
- ・朝自習・チャレンジタイムの時間を使って学力の定着に継続的に取り組んでいく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭学習強化週間を設け、宿題・家庭学習の計画的な実施と定着を目指す。
- ・読書や学習習慣の大切さを通信や学級懇談会等で、今後も発信していく。